

武豊町学校施設長寿命化計画

【令和2（2020）年度～令和41（2059）年度】

概要版

令和2（2020）年3月 策定

令和7（2025）年3月 改定

武豊町教育委員会

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

目的

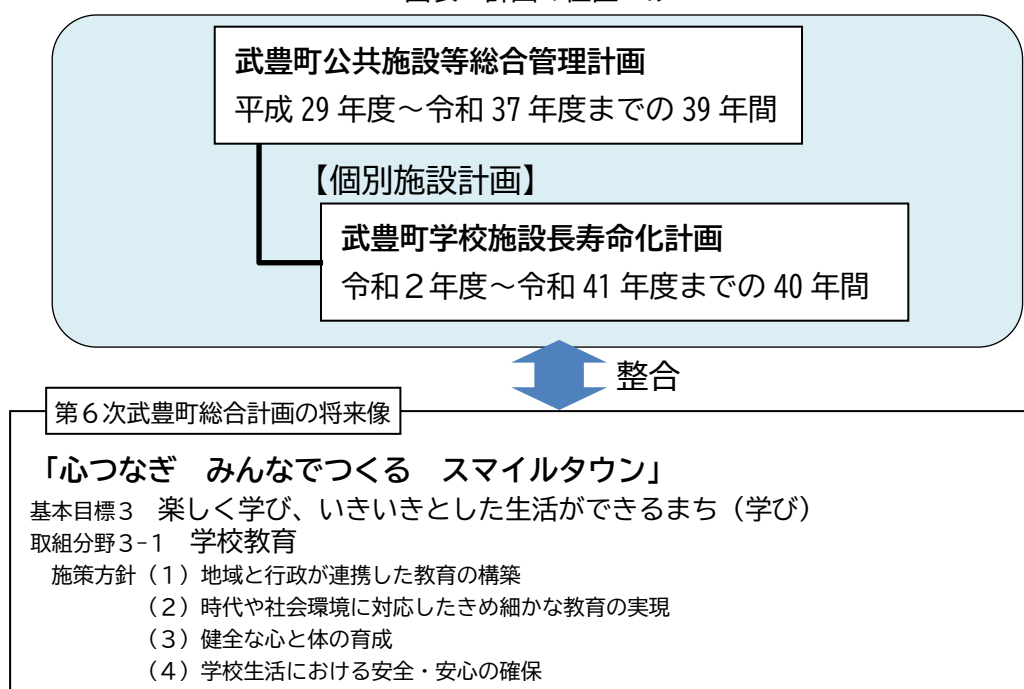
本町の学校施設について、学校施設を取り巻く背景や上位計画となる武豊町公共施設等総合管理計画を踏まえ、総合的な観点から、長寿命化できるものは長寿命化し、中長期的な財政負担の低減及び平準化を図り、今後の学校施設の維持管理・更新等を着実に推進するとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的とします。

計画期間と計画の位置づけ

本計画は、武豊町公共施設等総合管理計画に基づく、学校施設の個別施設計画として位置づけ、実施期間を令和2（2020）年度から令和41（2059）年度までの40年間とします。

また、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築した上で、計画を5年ごとに見直すものとします。

図表 計画の位置づけ



第2章 学校施設の目指すべき姿

「第6次武豊町総合計画」における学校教育の施策方針を踏まえ、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議※、平成 25（2013）年 3 月）を参考として、本町における学校施設の目指すべき姿を以下のように設定します。

※学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議

大学教授や日本 PTA 全国協議会副会長、学校長等を委員とし、近年の社会変化に対応するため、今後の学校施設の在り方及び指針の策定に関する調査研究を行う。

【安全性】安全安心に過ごせる施設環境の整備

- 計画的に学校施設の整備修繕を実施し、児童生徒が安全安心に過ごせるよう学校教育環境を整備します。
- 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう防犯・防災対策を講じるとともに、ユニバーサルデザイン化を図ります。
- 一人ひとりのこどもが安心して楽しい学校生活を送るために、障がいのあるこどもに配慮した学校施設を整備します。
- 避難所としての役割を果たすために、要配慮者を想定したバリアフリー対策の整備を進めます。

【快適性】環境衛生や教職員に配慮した施設環境の整備

- 生活様式等を踏まえ、トイレの改修を引き続き推進します。
- 校舎の維持・改修、新增築において、日照や採光、通風等に配慮します。
- 教職員等の事務負担軽減等のため、職員室等の ICT 環境を整備します。
- 大規模改修の際には断熱化や日射遮蔽等の建物性能の向上を図るとともに、照明等の設備機器の高効率化を図ります。

【学習活動への適応性】健全な心と体の育成を進めるための学習環境の整備

- 自ら考え行動できる「主体的に生きるこども」を育てることができるよう、主体性を養う空間の充実を図ります。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現といった「令和の日本型学校教育」を構築する、柔軟で創造的な学習空間の整備を推進します。
- 地域の状況を十分に踏まえ、地域資源を生かした教育を行うための環境を整備します。

【地域の拠点化】地域とともにある学校としての施設整備

- 「地域のこどもを地域の大人が育てる」ことを主軸に、地域とともにある学校としての施設整備を進めます。

第3章 学校施設の実態

学校施設の運営状況・活用状況等の実態

対象施設一覧

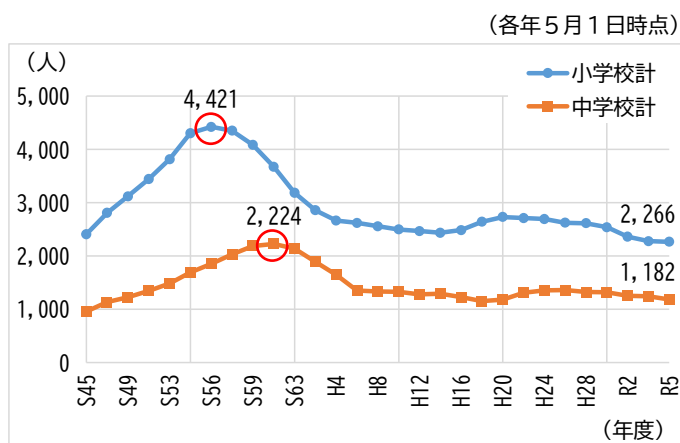
小学校、中学校の各学校施設の建物と土地の概要は、下表のとおりです。

施設名	建物					土地面積	利用 容積率
	用途	建築年度	構造	延床面積	合計		
武豊 小学校	校舎	S48・49	RC 造	4,308 m ²	10,382 m ²	32,007 m ²	31%
		H19	RC 造	4,402 m ²			
		S49	RC 造	335 m ²			
	体育館ほか	S54	RC 造	1,159 m ²			
		S49	RC 造	122 m ²			
	その他	H3・4	RC 造・S 造	56 m ²			
衣浦 小学校	校舎	S45	RC 造	5,792 m ²	8,368 m ²	31,529 m ²	38%
		S48	RC 造	547 m ²			
		S60	RC 造	642 m ²			
	体育館ほか	S46	RC 造・S 造	1,041 m ²			
		S45	RC 造	346 m ²			
	富貴 小学校	校舎	S47・48	RC 造			
S51			RC 造	1,845 m ²			
H16			RC 造	1,595 m ²			
体育館ほか		H24	RC 造	1,176 m ²			
		S48	RC 造	121 m ²			
その他		S61	S 造	20 m ²			
		H24	S 造	9 m ²			
緑丘 小学校	校舎	S54	RC 造	6,359 m ²	8,188 m ²	27,641 m ²	34%
		H13	S 造	16 m ²			
		H20	S 造	41 m ²			
		H23	RC 造	513 m ²			
	体育館ほか	S55	RC 造	1,221 m ²			
		S58	RC 造	38 m ²			
		小学校 計					
武豊 中学校	校舎	S56	RC 造	2,168 m ²	11,789 m ²	39,553 m ²	34%
		H23	RC 造	6,779 m ²			
	体育館 武道場	S57	RC 造	1,871 m ²			
		S57	RC 造	812 m ²			
	その他	S56	RC 造	105 m ²			
		H3	S 造	54 m ²			
富貴 中学校	校舎	S47	RC 造	5,745 m ²	9,559 m ²	37,963 m ²	40%
		S58・59	RC 造	1,802 m ²			
	体育館 武道場	S47	RC 造	1,130 m ²			
		S58	RC 造	787 m ²			
	その他	S47	RC 造	28 m ²			
		S56	S 造	18 m ²			
		S63	S 造	49 m ²			
中学校 計					21,348 m ²	77,516 m ²	36%
小・中学校 合計					55,444 m ²	188,932 m ²	34%

児童生徒数の変化

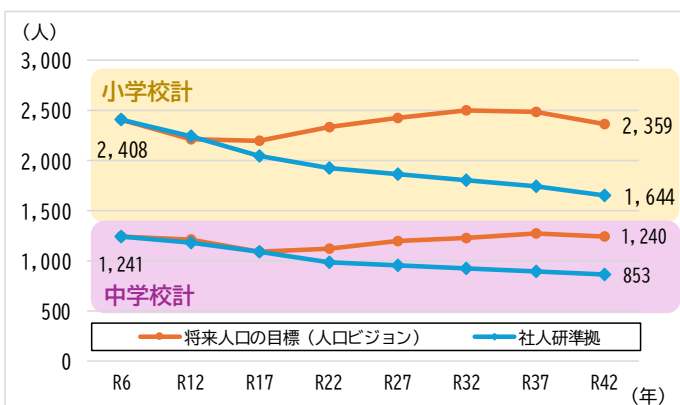
①長期的な児童生徒数の推移

本町の小学校児童数は、昭和 56（1981）年度をピークに減少し、平成 3（1991）年度以降は 2,500 人程度で横ばいとなっています。また、中学校生徒数は、昭和 61（1986）年度をピークに減少し、平成 6（1994）年度以降は 1,300 人程度で横ばいとなっています。



②児童生徒数の見通し

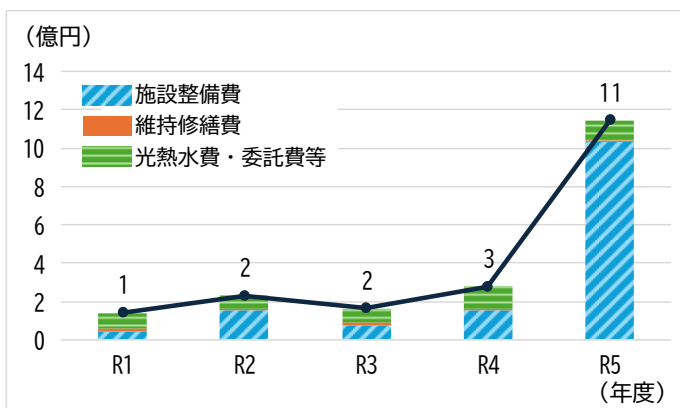
本町の児童生徒数は令和 6（2024）年を基準とすると、令和 42（2060）年において「武豊町人口ビジョン」に基づいて推計した将来人口の目標ではほぼ維持されていますが、社人研に準拠して推計したパターンでは 6～7 割程度に減少することが見込まれます。



資料：武豊町人口ビジョン、国立社会保障・人口問題研究所の数値を基に作成

施設関連経費の推移

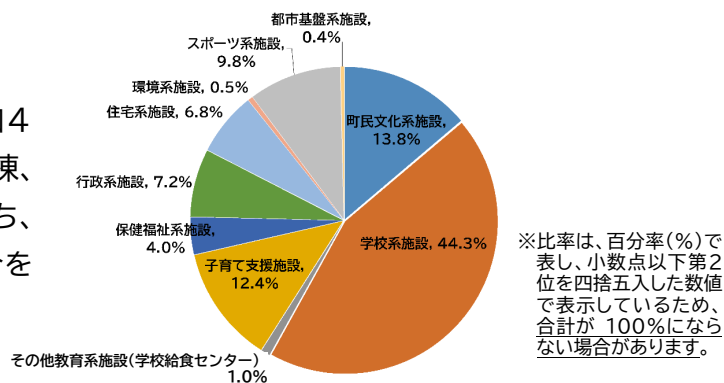
令和元（2019）年度から令和 4（2022）年度の学校施設の施設関連経費は約 1.4～2.8 億円で、年平均で約 2.0 億円です。令和 5（2023）年度は屋内運動場、武道場及び特別支援教室のエアコンの設置工事をまとめて実施したため、その他修繕等も含めると施設整備費が合計で約 10 億円にかかっており、施設関連経費の合計が約 11 億円とコストが大きくなっています。光熱水費・委託費、維持管理費がほぼ同程度の金額で推移しているのに対し、施設整備費は年度によって大きな差が生じています。



資料：武豊町資料

学校施設の保有量

本町が保有する建築物系施設は、令和 4（2022）年度末時点で、69 施設、195 棟、延床面積 128,846 m²となっています。うち、学校系施設が 44.3%と最も大きな割合を占めています。



※比率は、百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100%にならない場合があります。

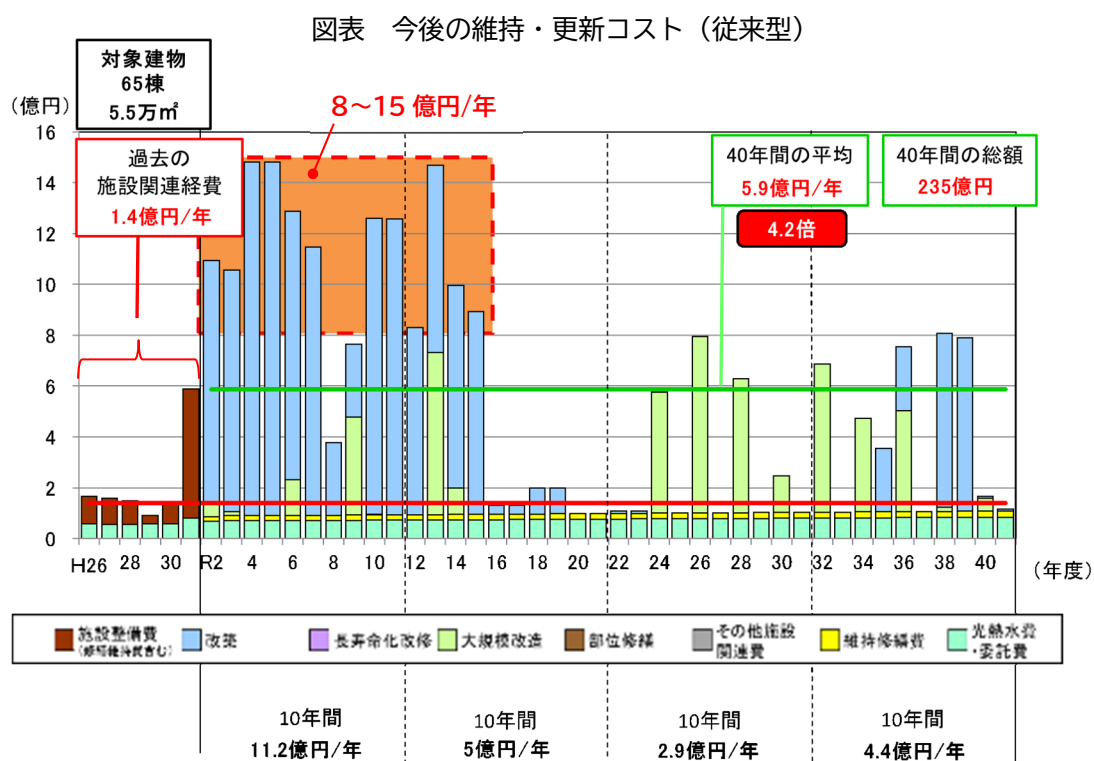
出典：武豊町公共施設等総合管理計画

今後の維持・更新コスト(従来型)

本計画策定時の従来手法（改築周期 40 年、予防改修周期 20 年）で維持した場合に必要な維持・更新コストは以下のとおりです。

築 40 年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後 40 年間のコストは 235 億円（5.9 億円/年）かかります。これは、平成 26（2014）年度から令和元（2019）年度の 6 年間の施設関連経費の平均 1.4 億円/年の 4.2 倍となります。特に令和 2（2020）年度から令和 7（2025）年度、令和 9（2027）年度から令和 15（2033）年度にかけては、8～15 億円/年もの投資が必要となります。

従って、従来の建替え中心の整備を継続することは困難であり、対策を検討する必要があります。



学校施設の老朽化状況の実態

構造躯体の健全性の評価

本町の学校施設のうち、旧耐震基準の施設は耐震補強済みまたは、耐震診断で耐震性ありとなっています。RC造でコンクリート圧縮強度が 13.5 N/mm²以下のもの、及びS造で、概ね建築後 40 年以上で腐食の著しいものはないことから、すべての学校施設を「長寿命化」と判定しました。

構造躯体以外の劣化状況等の評価【健全度の評価結果】

 : 築50年以上
 : 築30年以上
 A : 概ね良好
 C : 広範囲に劣化
 B : 部分的に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報										構造躯体の健全化						劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全 度 (100 点) 満点
							西暦	和 暦		基準年	基準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧縮 強度 (N/ ㎡)						
									2024												
1	武豊小学校	南校舎 1	013-1	RC	3	2,300	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	B	D	C	C	C	34
2	武豊小学校	南校舎 2	013-2	RC	3	1,248	1974	S49	50	旧	済	済	H21	16.2	長寿命	B	D	C	C	C	34
3	武豊小学校	渡り廊下 (南校舎3)	013-3	RC	1	30	1991	H3	33	新	済	済	H21	17.6	長寿命	C	C	B	B	B	62
4	武豊小学校	渡り廊下 (南校舎4)	013-4	S	1	20	1992	H4	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
5	武豊小学校	西校舎 1	015-1	RC	2	760	1974	S49	50	旧	済	-	H12	17.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
6	武豊小学校	西校舎 2	015-2	RC	2	335	1974	S49	50	旧	済	-	H12	17.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
7	武豊小学校	昇降口	016-1	RC	1	122	1974	S49	50	旧	済	-	H12	17.6	長寿命	D	D	C	C	C	29
8	武豊小学校	渡り廊下	016-2	RC	1	6	1991	H3	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
9	武豊小学校	屋内運動場	17	RC	2	1,129	1979	S54	45	旧	済	-	H12	20.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
10	武豊小学校	便所	18	RC	1	30	1979	S54	45	旧	済	-	H12	20.6	長寿命	A	A	C	C	C	62
11	武豊小学校	北校舎 1	026-1	RC	3	3,142	2007	H19	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	90
12	武豊小学校	北校舎 2	026-2	RC	3	1,260	2007	H19	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	90
13	衣浦小学校	北校舎 1	001-1	RC	3	2,375	1970	S45	54	旧	済	済	H19	17.6	長寿命	A	D	C	C	C	37
14	衣浦小学校	北校舎 2	001-2	RC	3	670	1970	S45	54	旧	済	済	H19	17.6	長寿命	A	D	C	C	C	37
15	衣浦小学校	北校舎 3	001-3	RC	3	547	1973	S48	51	旧	済	済	H19	17.6	長寿命	A	D	C	C	C	37
16	衣浦小学校	南校舎	2	RC	3	2,747	1970	S45	54	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	D	D	C	C	C	29
17	衣浦小学校	昇降口渡り(西)	3	RC	2	187	1970	S45	54	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	D	C	C	C	32
18	衣浦小学校	昇降口渡り(東)	4	RC	2	159	1970	S45	54	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	D	C	C	C	32
19	衣浦小学校	屋内運動場	6	RC	2	1,006	1971	S46	53	旧	済	済	H15	18	長寿命	B	C	C	C	C	43
20	衣浦小学校	便所・倉庫	7	S	1	35	1971	S46	53	旧	済	-	H15	18	長寿命	D	D	C	C	C	29
21	衣浦小学校	特別教室棟	11	RC	2	642	1986	S61	38	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
22	富貴小学校	普通教室棟	014-1	RC	3	1,023	1972	S47	52	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
23	富貴小学校	配膳室 1	014-2	RC	3	96	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
24	富貴小学校	管理特別普通棟	014-3	RC	3	1,369	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
25	富貴小学校	配膳室 2	014-4	S	1	20	1986	S61	38	新	済	済	H21	17.6	長寿命	C	B	B	B	B	72
26	富貴小学校	便所	014-5	RC	1	25	1973	S48	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
27	富貴小学校	プ レイルーム	014-6	RC	2	368	1976	S51	48	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	B	B	C	C	C	53
28	富貴小学校	特別教室棟	18	RC	3	1,477	1976	S51	48	旧	済	済	H21	18.7	長寿命	C	C	C	C	C	40
29	富貴小学校	普通特別教室棟	20	RC	3	1,595	2004	H16	20	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
30	富貴小学校	屋内運動場	21	RC	1	1,144	2012	H24	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
31	富貴小学校	倉庫 1	22	S	1	9	2012	H24	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
32	富貴小学校	倉庫 2	23	S	1	32	2012	H24	12	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

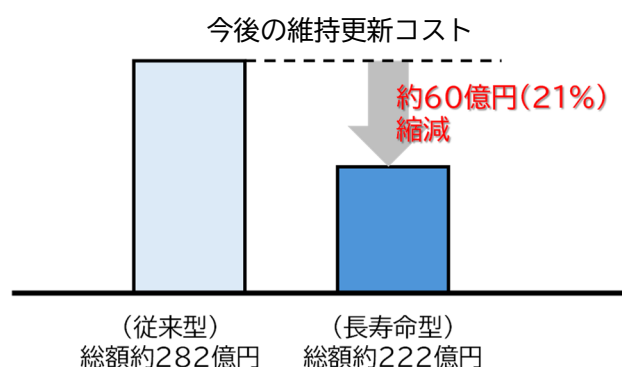
建物基本情報										構造躯体の健全化						劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全 度 (100 点) 満点
							西暦	和暦		基準年	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/ ㎡)						
							2024														
33	緑丘小学校	普通教室・ 管理棟1	001-1	RC	2	2,971	1979	S54	45	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
34	緑丘小学校	普通特別教室棟	001-2	RC	4	3,388	1979	S54	45	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
35	緑丘小学校	普通教室・ 管理棟2	001-4	S	1	16	2001	H13	23	新	済	済	H21	20.6	長寿命	B	A	B	B	B	82
36	緑丘小学校	屋内運動場	3	RC	2	1,151	1980	S55	44	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	A	B	B	B	B	77
37	緑丘小学校	渡り廊下1	004-1	RC	2	70	1980	S55	44	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	B	C	B	B	B	65
38	緑丘小学校	渡り廊下2	004-2	RC	2	38	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
39	緑丘小学校	特別支援学級棟	7	S	1	41	2008	H20	16	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
40	緑丘小学校	普通教室棟1	008-1	RC	2	497	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98
41	緑丘小学校	普通教室棟2	008-2	RC	2	2	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98
42	緑丘小学校	普通教室棟3	008-3	RC	2	14	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98
43	武豊中学校	北棟1	012-1	RC	3	817	1981	S56	43	旧	済	-	H21	20.5	長寿命	B	B	B	B	B	75
44	武豊中学校	北棟2	012-2	RC	3	1,351	1981	S56	43	旧	済	-	H21	20.5	長寿命	B	B	B	B	B	75
45	武豊中学校	渡り廊下1	013-1	RC	2	105	1981	S56	43	旧	済	-	H21	20.6	長寿命	B	B	B	B	B	75
46	武豊中学校	渡り廊下2	013-5	S	2	54	1991	H3	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
47	武豊中学校	屋内運動場	15	RC	2	1,871	1982	S57	42	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
48	武豊中学校	武道場	16	RC	2	812	1982	S57	42	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
49	武豊中学校	管理A棟	24	RC	3	2,372	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
50	武豊中学校	管理B棟	25	RC	3	984	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
51	武豊中学校	南棟	26	RC	2	1,289	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
52	武豊中学校	中央棟	27	RC	3	1,913	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
53	武豊中学校	技術科棟	28	RC	1	221	2011	H23	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
54	富貴中学校	北東館1	008-1	RC	3	1,444	1972	S47	52	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	B	C	C	C	C	43
55	富貴中学校	北東館2	008-2	RC	3	516	1972	S47	52	旧	済	済	H21	20.6	長寿命	C	C	C	C	C	40
56	富貴中学校	北東館3	008-3	RC	3	6	1983	S58	41	新	済	済	H21	20.6	長寿命	B	C	B	B	B	65
57	富貴中学校	渡り廊下	10	RC	2	28	1972	S47	52	旧	済	済	H22	20.6	長寿命	B	C	C	C	C	43
58	富貴中学校	南館	011-1	RC	3	3,785	1972	S47	52	旧	済	済	H22	20.2	長寿命	B	D	C	C	C	34
59	富貴中学校	屋内運動場	12	RC	2	1,130	1972	S47	52	旧	済	済	H16	20	長寿命	B	C	C	C	C	43
60	富貴中学校	便所	14	S	2	18	1981	S56	43	旧	済	済	H22	20.2	長寿命	B	B	B	B	B	75
61	富貴中学校	北西棟1	015-1	RC	3	1,192	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51
62	富貴中学校	北西棟2	015-2	RC	1	432	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51
63	富貴中学校	武道場	16	RC	2	787	1983	S58	41	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
64	富貴中学校	木工室	17	RC	1	172	1984	S59	40	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51
65	富貴中学校	倉庫	19	S	1	49	1988	S63	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31

今後の維持・更新コストの把握(長寿命化型)

建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

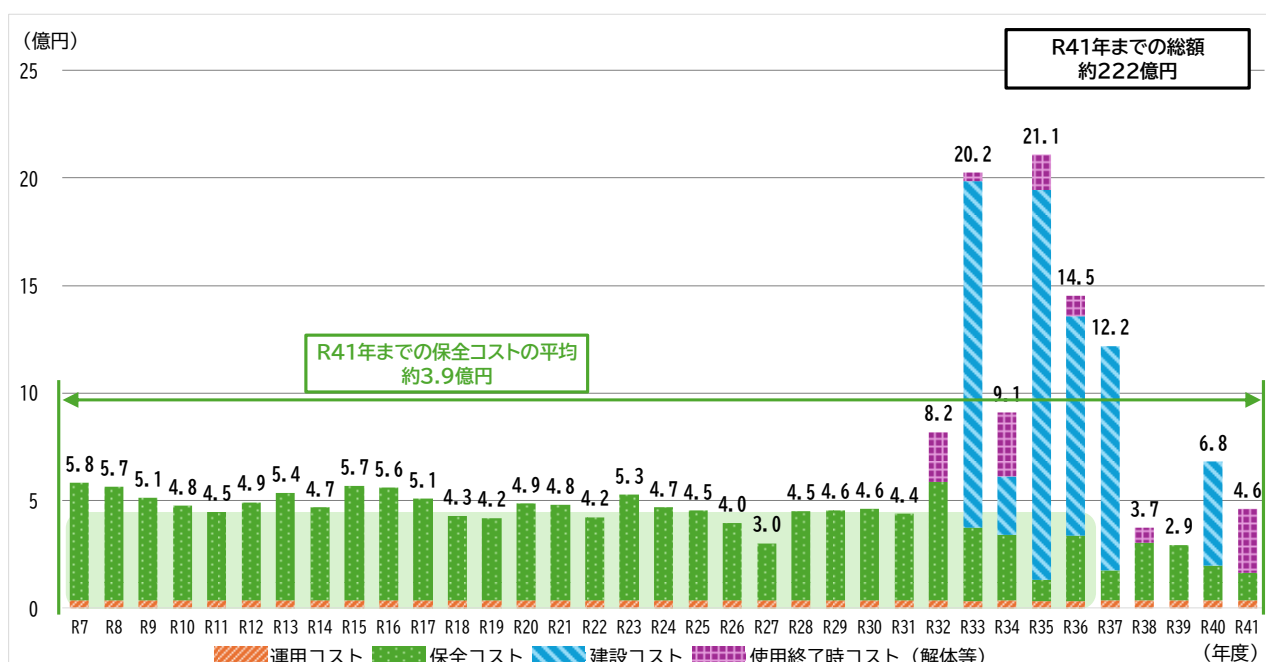
長寿命化改修により建物の目標使用年数を 80 年に向上させた場合、今後の維持・更新コストは総額約 222 億円となります。これは、令和 2 年度時点で試算した今後の維持・更新コストの総額約 193 億円（約 4.8 億円/年）の約 1.2 倍となっていますが、昨今の工事費や資材価格の高騰による影響と考えられます。

令和 2 年度時点で試算した従来の建替え中心の場合の今後の維持・更新コストについても、工事費や資材価格等の高騰を加味して 1.2 倍すると総額は約 282 億円となり、長寿命化に切り替えることで総額約 60 億円（約 21.3%）の縮減となります。



ただし、令和 7 年度以降 1 年あたり約 3.9 億円の保全コスト（長寿命化改修等）がかかることや、令和 32 年度より目標使用年数に達した建物の建替え費用が発生してくるため、積立等を計画的に行う必要があります。

図表 今後の維持・更新コストの試算結果（長寿命化型）



資料：令和 5 年版建築物のライフサイクルコスト（（一財）建築保全センター）の試算ソフトを用いて算出

※保全コストには、長寿命化改修の他、維持修繕等も含めて試算します。

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

学校施設の規模・配置計画等の方針

学校施設の長寿命化計画の基本方針

「武豊町公共施設等総合管理計画」の基本方針を踏まえ、学校施設の長寿命化の基本方針を以下のように定めます。

基本方針1 長寿命化の実施及び計画的な予防保全

建物の劣化が進んでいる施設から順に、長寿命化に資する修繕等を進めるとともに、ライフサイクルコストの縮減を目指し、計画的な予防保全に努めます。

基本方針2 適切な学習環境の維持と向上

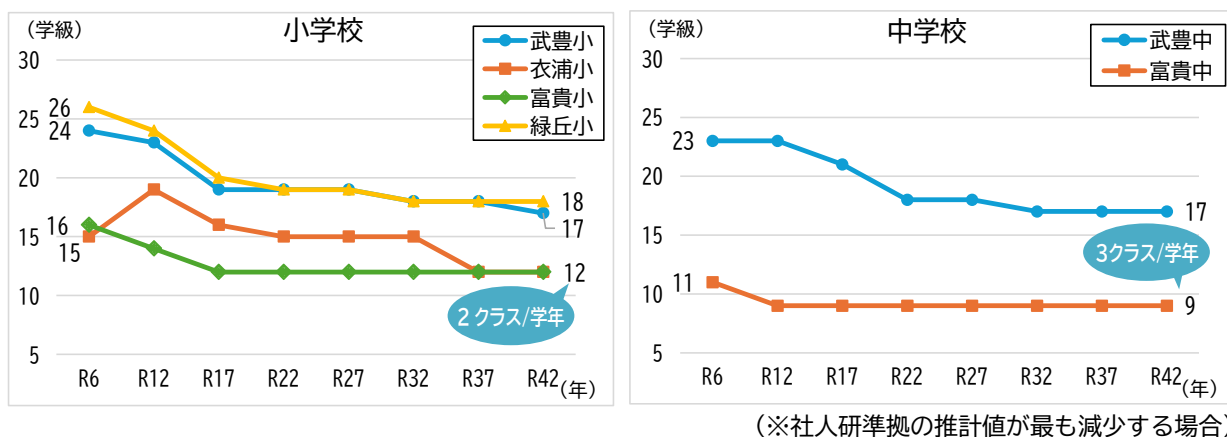
トイレの洋式化、施設全体のユニバーサルデザイン化等、快適に利用しやすい施設整備を進めるとともに、多様化する新しい時代の学びを実現する施設整備についても検討します。

また、省エネルギー機器の導入等を検討し、学校施設の機能向上を図るとともに、運営経費の縮減に努めます。

基本方針3 施設規模の適正化

将来の学校ごとの学級数の推計から少ない場合でも1クラスとなるケースはなく、小学校区がコミュニティの単位となっていることから現計画期間においては学校の統廃合は見込まないものとします。なお、今後の児童生徒数の動向を踏まえ、将来的には減築や学校施設の集約化及び屋内運動施設や教室等の共同利用の可能性を検討します。

図表 学級数の推計



学校施設の規模・配置計画等の方針

①減築の検討

今後の児童生徒数の減少を見据え、学校施設の長寿命化を行う際に、併せて減築することを検討します。

②学校施設の集約化・共同利用の可能性について検討

今後の児童生徒数の減少を見据え、学校施設の建替えを行う際に、小中学校を同一敷地内に集約することや稼働状況を踏まえて屋内運動施設や教室等の共同利用の可能性について検討します。

改修等の基本的な方針

長寿命化の方針

調査したすべての建物において、耐震性は問題なく長寿命化が可能となっています。従って、従来の建替え中心の整備から改修による建物の長寿命化に切り替えて整備を行います。改修を行う際には、更新周期の長い設備等を採用します。

目標使用年数、改修周期の設定

築 20 年を目途に 1 回目の予防改修等、築 40 年を目途に長寿命化改修、築 60 年を目途に 2 回目の予防改修等を実施する改修周期を基本として、使用年数 80 年を目標とする長寿命化型の整備を目指します。

その他、個別課題への対応

本町における学校施設の現状としては一部の改築した建物を除いて築 40 年以上の施設が半数以上となっています。外部に関しては大規模改修を行っていない施設は劣化が著しく、雨漏り等問題が生じています。

また、内部に関してはトイレ等一部分を除き未改修の部位やバリアフリー化へ未対応である箇所が存在しているとともに、近年では「新しい時代の学びを実現する学校施設」（文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】令和 4 年 3 月）の整備が求められているため、今後、長寿命化改修や大規模改修を実施する際にこれら課題への対応を検討する必要があります。

〇コラム「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】(文科省)

文部科学省から、1 人 1 台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実等に向け、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方及び推進方策について報告書が令和 4 年 3 月に公表されました。



第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

改修等の整備水準

長寿命化において配慮すべき性能に対して、下表のとおり各部位の整備レベルを設定し、費用対効果を考慮して、最適な仕様を採用します。

屋根・屋上及び外壁については、安全性・耐用性を備えた部材・工法を採用します。

部位		改修メニュー(整備レベル)	
		現状の整備レベル	長寿命化改修
外部仕上げ	開口部	サッシ廻り・ 硝子シーリング	サッシ廻り・ 硝子シーリング
	内装仕上げ	既設のまま (事後保全とする)	内装材の全面更新
電気設備	便所	既設のまま (事後保全とする)	内装材の全面更新・ ドライ化 節水型便器に更新
	動力・電灯・ コンセント設備	既設のまま (事後保全とする)	動力設備の全面更新 (全施設更新済み) LED 照明器具への更新
機械設備	防災・弱電設備	既設のまま (事後保全とする)	防災・弱電設備の 全面更新
	給排水設備	既設のまま (事後保全とする)	給排水設備の全面更新
	空調設備	既設のまま (事後保全とする)	空調設備の設置(普通教室等一部設置済) 換気設備の更新

維持管理の項目・手法等

本計画の見直しにあわせて、チェックシートを用いて定期的に劣化状況調査を実施します。

屋上防水、外壁については不具合の見つかった時点で部位修繕を実施します。また、内装仕上げ、電気設備、機械設備に関しても、学校生活に支障をきたす部位に関しては直ちに修繕を行います。

第6章 長寿命化の実施計画

改修等の優先順位付け

D評価の部位については、屋上・屋根改修、外壁改修を優先して今後3年間で解消します。D評価部位の解消後に4億円前後の予算で設定し、施工年度の古い建物順に長寿命化を図る改修を行っていきます。

長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

40年間の計画は今後3年間を実施計画に基づいて行い、令和10(2028)年度から令和31(2049)年度までは約4億円の予算で長寿命化改修を行っていきます。

令和32(2050)年度以降は、築80年が経過する学校施設が出てくることから改築を行っていく必要があり、1年間で最大約21億円程度のコストが必要となることを見込まれており、建設コストの削減及び平準化を図ることが課題となります。

建替えの際には、将来の児童生徒数の推計を元に、適切な施設規模を想定するとともに、学校施設の集約化や屋内運動場や教室等の共同利用の可能性について検討し、学校施設にかかるコストをできるだけ縮減していくことが必要です。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

施設台帳等を活用して、今後、施設の基本情報、工事履歴や劣化情報を一元管理します。本計画の定期的な見直しの際に実施する劣化状況調査の工事履歴や劣化状況調査のデータを活用します。

2. 推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育委員会学校教育課を中心に本計画を含む学校施設のマネジメントを行います。必要に応じて民間事業者への委託を行い、対応を図ります。

3. フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、必要に応じて年次及び個別の事業費を精査する必要があります。また、事業の進捗状況、劣化調査等の結果や財政状況を反映して本計画は見直しを図るものとします。

武豊町学校施設長寿命化計画（改定）
令和7（2025）年3月

発行 武豊町教育委員会

編集 学校教育課

〒470-2392

愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地

電話：0569-72-1111